

街じゅうが美術館
園児から高校生までの作品を展示し、商店街の回遊性が向上

小林商工会議所

機関名	小林商工会議所			
所在地	宮崎県小林市大字細野 1 8 9 9 - 3			
電話番号	0 9 8 4 - 2 3 - 4 1 2 1			
地域概要	(1)管内人口	39 千人	(2)管内商店街数	5 商店街
事業の対象となる 商店街の概要	(1)商店街数	5 商店街	(2)会員数	166 商店
	(3)空店舗率	24 %	(4)大型店空き店舗数	0 店
商店街の種類	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街			

【事業名と実施年度】

平成 15 年度 活性化対策事業 ・街じゅう美術館事業
総事業費 1,009 千円

【事業実施内容】

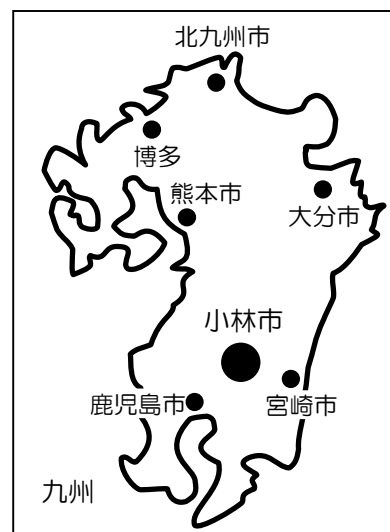
1. 背景

小林市は、宮崎県の南西部にあり、一部を鹿児島県、熊本県に接し、県都宮崎市まで宮崎自動車道を利用して約 1 時間の距離にある。当市は、これまで農業や林業を中心に農産加工、製材業など地場産業が地域の発展を促し、西諸地域(2 市 2 町 1 村)の中心都市としての役割を担ってきた。

当市の中心市街地は、J R 小林駅や国道 221 号周辺を中心に、通りごとに 5 つの商店街が構成されている。また、金融機関や医療機関、行政機関の出先等の公共公益施設も多く立地し、当市の「まちなか」としての役割を担ってきた。

しかし、近年郊外への大規模小売店舗等の進出やモータリゼーションの進展とともに、駐車場対策など消費者への対応の遅れや主力店主の高齢化や後継者不足等により空き店舗は増加傾向をたどり、平成 14 年 5 月には空き店舗率が 30.7%にも達した。また、商店街の歩行者、自転車の通行量もメインストリートの中央通り商店街では、昭和 60 年の 3,630 名の半分以下まで落ち込んでいる。

一方、平日の郵便局や銀行などへの来街者は年々増加傾向にあるが、その多くは目的地の駐車場に直接車で乗り付けて用件を済ませる住民が増えている状況にある。そのため、金融機関が休みとなる土、日、祝日の来街者は、平日に比べ極端に少なくなっている。また、平成 14 年 2 月には、中心市街地に立地する大型店 寿屋小林店が閉鎖し、高齢者比率が高い近隣居住者の日常生活に影響を及ぼしており、中心市街地の活性化が急務となっている。



小林市位置図

そのため、来街者の増加と徒歩による回遊性を促進する事業を実施し、中心市街地の活性化を図ることとした。

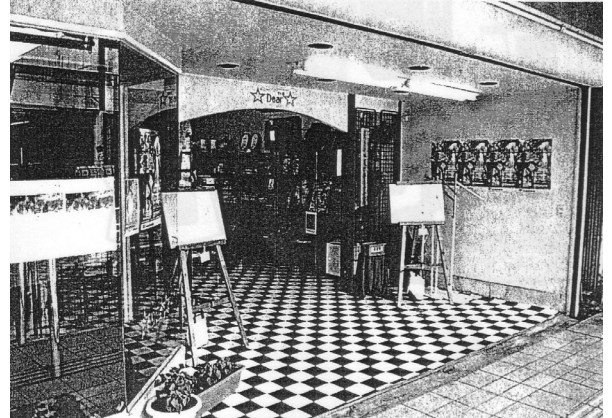
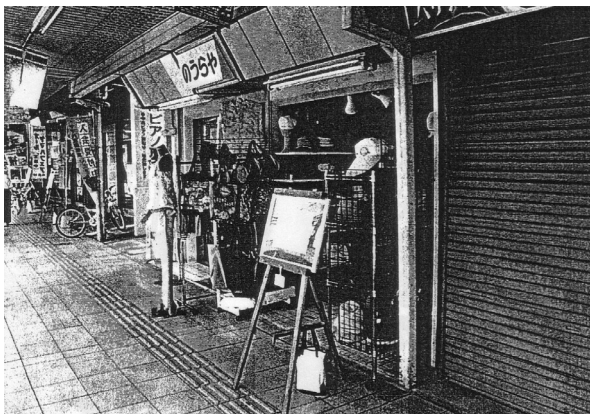
2. 事業内容

(1) 事業概要

市内の保育園、幼稚園、小・中・高等学校の生徒等の絵画作品等を商店街の各個店の店頭に表示する。作品鑑賞のために街中に訪れる作品提供者や父兄等と商店主とのコミュニケーションを深めるとともに、人が回遊することによる中心商店街の活性化を図る。

街じゅう美術館のオープンチラシ

(2) 展示枚数 200点。(各店舗内及び街頭に展示)



店頭に表示された絵画作品等

(3) 展示期間 1作品約2週間として作品を入れ替える。

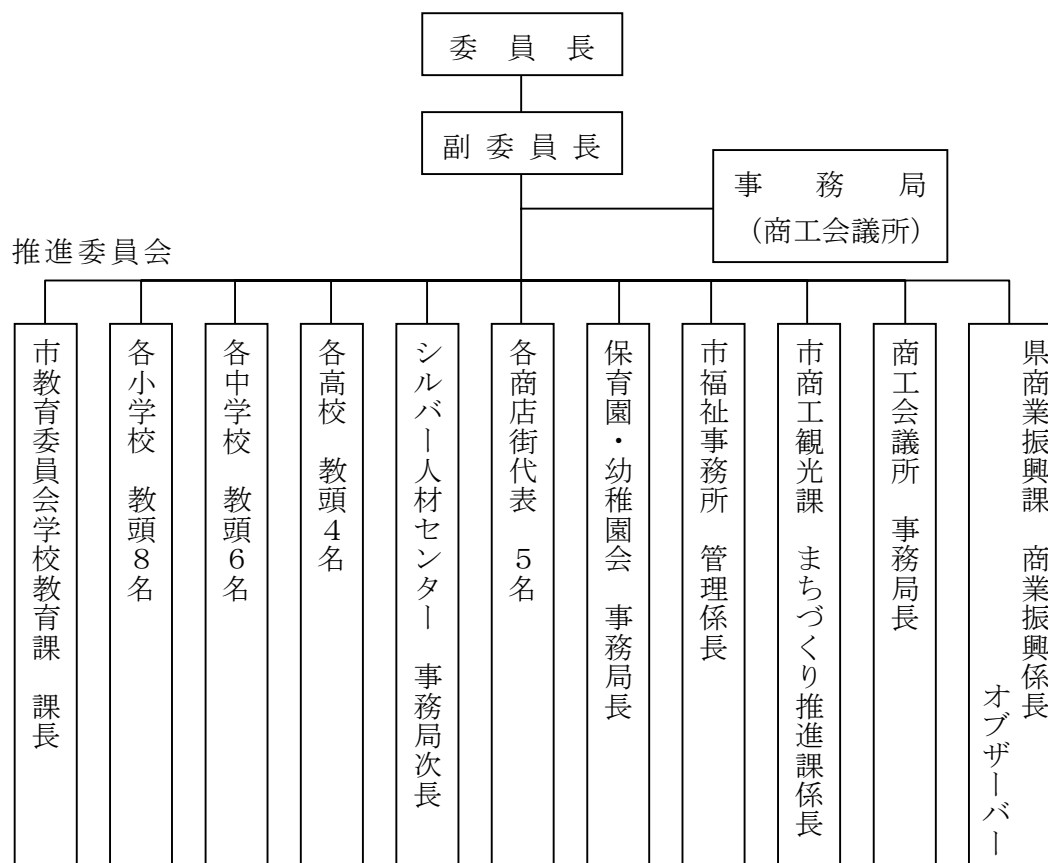
(4) 展示方法 額縁に絵画を入れ、イーゼルで個店のショーウィンドウや店頭において展示する。

(5) 作品回収 コミュニティ施設活用商店街活性化事業で整備する「井戸端会館」に、学校等が作品を月1回持ち込む。各個店は集まった作品を取りに来て展示する。預かった作品は、個店で管理する。

(6) 実施期間 平成15年5月26日～平成16年3月31日

小林商工会議所

- (7) 運営体制 小林商工会議所内に、商店街関係者、小・中・高等学校等関係者、シルバー人材センター、行政機関関係者からなる「小林市商店街いきいき活性化推進委員会」を設置し、事業の企画・運営を行う。



小林市商店街いきいき活性化事業実施体制図

3. 事業実績

(1) オープニングイベント

①日時

平成 15 年 7 月 12 日 (土) 午前 10～12 時

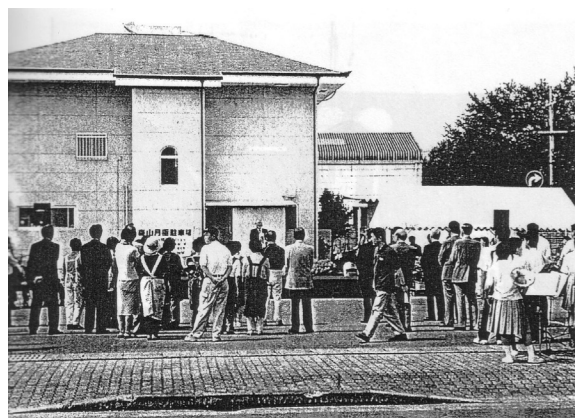
②内容

○セレモニー

- ・挨拶ほか

○アトラクション (地元子供達等の音楽演奏等)

- ・幼稚園・保育園代表／小林幼稚園
- ・小学生代表／小林ジュニアマーチングバンド
- ・中学生代表／細野中吹奏楽部
- ・高校生代表／工業・商業高校合同吹奏楽チーム
- ・高齢者代表／シルバー人材センター



オープニングイベントの様子

(2) 展示枚数

絵画、書道等の作品、延べ3, 250枚を展示。

【 効 果 】

1. 商店街の組織

本事業を実施したことにより、各商店街との連携が深まり活性化に取り組む意識の変化が見られるようになった。

2. 来街者の行動

商店街への来街者が、買物だけでなく個店で展示されている絵画を見て回り、商店街の回遊性が高まった。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

・ 事業の合意形成

商店街側及び学校関係者との連絡や事業内容の理解の相違が見られ、多少混乱があった。